

(研究課題名) 乳児の股関節脱臼の見落としゼロを目指す異常判別AIとコミュニティスクリーニングシステムの開発：全国調査

この調査は、全国の地方自治体に所属し母子保健事業に携わっている保健師の皆様に、訪問・健診等の機会における股関節脱臼の一次検診（スクリーニング）についてお伺いするものです。

設問数：6問～18問（所要時間5～10分程度）

[調査票PDFのダウンロード](#)

年度末の大変お忙しいところ恐縮ですが、各質問にご回答ください。

*** 1. 調査への回答に**

同意する

*** 2. 所属する自治体名を教えてください**

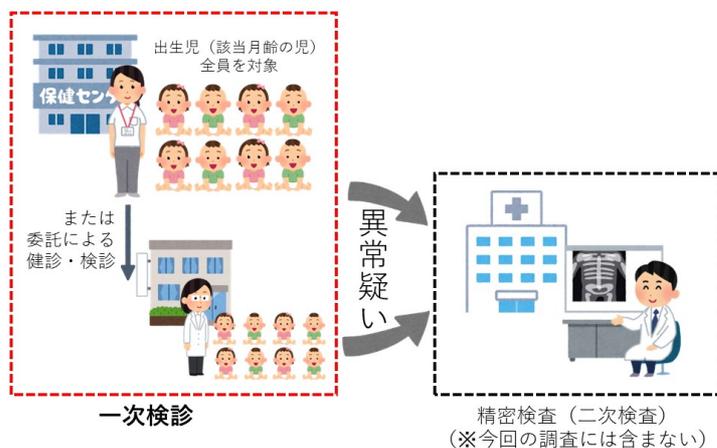
(人口・出生数の連結し統計処理のために利用します。自治体名を公表することは決してありません。)

※自治体名の記入ができない場合は、2021(令和3)年の貴自治体の年間出生数を上の記入欄にご入力ください(例：113人)

*** 3. 乳児全戸訪問を実施している職種を教えてください [複数回答]**

- 保健師
- 助産師
- 看護師
- 民生・児童委員
- その他の非医療職（具体的に）

本調査で対象とする一次検診とは下図の通りです



* 4. あなたの自治体で1歳までに実施する訪問事業や健診のうち、**出生児全員を対象とした股関節脱臼の一次検診（チェック）の機会について**ご回答ください（異常疑いの場合の医療機関での精密検査は除きます）。

健診自体を医療機関に委託している場合は、委託項目に含まれているかでご回答ください [複数回答]

- 新生児訪問
- 4か月健診
- 6 - 7カ月頃に行う健診等
- 9 - 10カ月頃に行う健診等
- 1歳頃に行う健診等
- 委託分については不明
- その他 (具体的に)

- 股関節検診を実施する機会がない **⇒Q8までスキップ**

5. 各健診等において、股関節脱臼のリスク要因として、次の項目を確認していますか。

確認している項目を選んでください。看護職・医師等、確認の実施者は問いません。 [複数回答]

↓Q4で選択した項目のみ表示	股関節開排制限 (開排角度)	大腿皮膚溝または鼠径皮膚溝の非対称 (しわの数)	家族歴 (血縁者の股関節疾患)	女兒	骨盤位分娩	出生した時期 (寒い時期) クリック音の有無	向き癖
新生児訪問	<input type="checkbox"/>						
4か月健診	<input type="checkbox"/>						
6 - 7カ月頃に行う健診等	<input type="checkbox"/>						
9 - 10カ月頃に行う健診等	<input type="checkbox"/>						
1歳頃に行う健診等	<input type="checkbox"/>						

その他の項目を確認している(具体的に)

* 6. 股関節脱臼について医療機関へ紹介する基準がありますか？ (上記チェック項目のうち3個以上、など)

- ある
- ない **⇒Q8までスキップ**

股関節脱臼について、医療機関へ紹介する基準が「ある」と回答した方に伺います

* 7. 医療機関への紹介基準として「乳幼児健康診査身体診察マニュアル」(※)の基準を用いていますか？

- この基準を用いている
- これ以外の基準を用いている

※国の乳幼児健康診査身体診察マニュアルでは、「①開排制限が陽性」、または「②大腿皮膚溝または鼠径皮膚溝の非対称(しわの数)、③家族歴(血縁者の股関節疾患)、④女兒、⑤骨盤位分娩のうち2つ以上該当する」場合に医療機関に紹介することが推奨されています。

* 8. 新生児訪問時、股関節脱臼予防/改善のための保健指導を実施していますか？
(訪問者個人としてではなく、自治体としての実施状況をご回答ください)

- 実施している
- 一部実施している
- 実施していない ⇒Q11までスキップ

新生児訪問時、股関節脱臼予防/改善のための保健指導を「実施している」「一部実施している」と回答された方に伺います

* 9. 保健指導の対象者を教えてください
(訪問者個人としてではなく、自治体としての実施状況をご回答ください)

- 訪問した全家庭
- 股関節脱臼疑い又はリスク因子のあった家庭のみ
- 自治体として統一した基準は決めていない
- その他(具体的に)
-
- 不明/把握していない

* 10. 保健指導の内容に含まれる項目を教えてください [複数回答]

- おむつの当て方
- 抱っこの仕方
- 抱っこ紐の選択/使い方
- 衣類の選択(小さいズボンや足の動きを妨げるような衣類は避ける)
- 寝かせ方(比較的硬い敷布団に寝かすといった自然肢位を妨げない育児法)
- おくるみの使用方法
- その他(具体的に)

* 11. 新生児訪問するスタッフへの股関節脱臼チェックのための教育・研修は実施していますか

- スタッフ全員に実施している
- 希望者のみに実施している
- 看護職（保健師・助産師・看護師）等の医療専門職のみに実施している
- 実施していない **⇒Q13にスキップ**

新生児訪問するスタッフへの股関節脱臼チェックのための教育・研修を「実施している」と回答された方に伺います

* 12. 教育内容であてはまるものを教えてください [複数回答]

- リスク因子確認のための手技（開排制限チェックの方法など）
- 股関節脱臼のリスク因子について
- その他（具体的に）

* 13. あなたの自治体では、股関節脱臼の一次検診のために、超音波検査を導入していますか
(異常疑いの場合の医療機関での精密検査は除きます)

- 導入している
- 導入していない **⇒調査終了**

股関節脱臼の一次検診のために、超音波検査を「導入している」と回答した方に伺います

* 14. 股関節脱臼の一次検診のために、超音波検査を導入を開始したのはいつですか？

15. 股関節脱臼の一次検診のために、何をきっかけに超音波検査を導入しましたか

* 16. 超音波検査の実施場所と対象者をおしえてください [複数回答]

- 自治体の集団健診会場で全員に実施
- 自治体の集団健診会場で希望者に実施
- 自治体の集団健診会場で要精査の場合に実施 (同じ会場で実施)
- 委託した医療機関で全員に実施
- 委託した医療機関で希望者に実施
- 家庭訪問で全員に実施
- 家庭訪問で希望者に実施
- その他 (具体的に)

* 17. 超音波検査の実施者についておしえてください

- 整形外科医
- 小児科医
- 助産師や保健師
- その他 (具体的に)

18. 2021年度の超音波検査での有所見者数についておしえてください

超音波検査 対象者数 (人)

超音波検査 受診者数 (人)

超音波検査での有所見数 (人)

精密検査で異常ありと判定された人数 (人)

19. 超音波検査を実施するための経費と人員についておたずねします。(不明の場合は「不明」とご記入ください)

①経費 (※回答例: 令和元年度予算300千円 (医師謝金、技師賃金、超音波検査借用費))

②人員 (※回答例: 年間12回実施。1回当たり整形外科医1人、技師1人、看護師2名)

調査終了